

～ 明日の整備のスペシャリストを育成する ～

農業機械科 Q & A

Q1 農業機械科の「特色」は？

- A. ずばり自動車を教材として学びます。エンジンやトランスミッションなど車体の分解実習や自動車が走行するための理論や構造、自動車に関する法令を学びます。国土交通省より3級自動車整備士養成施設の認可（県内唯一）を受けており、卒業をすると検定試験（国家試験）のうちの実技試験が免除され、さらに、学科試験（登録試験）を受ける資格が与えられます。



Q2 農業機械科が期待する生徒は？

- A. ①自動車の構造に興味関心があり探求心が旺盛な者。
②専門教科の時間数が国から指定されているので休まずに勉学に励む者。
（欠席した場合は回復があります）
③将来、自動車産業で活躍したい者。

Q3 専門科目で学習する内容は？

A.

総合実習	作業工具の取扱い・溶接・電気（テスター）の製作を通して、基礎的な原理などを実習を通して学習します。
農業機械	自動車の定義、歴史、法令上の分類、作動の原理、材料、燃料や自動車に特に関係の深い、熱、力、圧力と応力、電気と磁気についての基礎的な原理・法則を学習します。
農業と環境	プロジェクト学習（スイートコーン、ハクサイの栽培）を通して、体験的、継続的な学習活動を行う。成長や収穫の喜びを経験し、農業に関する基礎的な知識と技術を習得します。
農業情報処理	パーソナルコンピュータを使った文書処理、表計算、プレゼンテーションソフト使用技能を学習します。
総合実習	自動車の「走る、止まる、曲がる」の原理と性能や自動車を構成する各装置の構造、自動車の安全装置の目的、種類などの基礎知識を学習します。
自動車工学	自動車の「走る」、「止まる」、「曲がる」という三つの基本性能に対して、それぞれの原理とこの基本性能を発揮するために自動車に要求される性能・装置の構成について学習します。
整備実習	ガソリンエンジンやエンジンに関わる部品を分解することにより、構造・機能を学び、点検を通じて測定器具や点検の技術を学習します。
自動車工学	ガソリンエンジン本体と各装置の構造・機能及び整備について学習します。
自動車整備	自動車の内燃機関（ディーゼル）の作動・燃焼の原理・法則を学習する。
農業機械	道路運送車両法の概要、保安基準、保安基準の細目を定める告示等の重要な条文について学習します。
課題研究	自動車や農業機械に関する分野から製作（溶接など技術の探究）、調査、研究、に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をします。



トラクタ運転実習（１年）



シャシ実習（２年）



エンジン分解実習（３年）



ガス溶接技能講習（１年）



検査場見学（３年）



エコラン参戦

Q4 農業機械科で取得できる「資格」は？

- | | |
|--|---------|
| A. ①三級自動車整備士（ガソリン・シャシ・ディーゼル） | ３年生 |
| ②危険物取扱者 丙種、乙種１類～６類 | １年生～３年生 |
| ③ガス溶接技能講習 | １年生 |
| ④フォークリフト運転士技能講習 | ２年生 |
| ⑤小型車両系建設機械運転者特別教育 | ２年生 |
| ⑥アーク溶接特別教育 | ３年生 |
| ⑦低圧電気取扱者 | ３年生 |
| ⑧小型移動式クレーン技能講習 | １年生～３年生 |
| ⑨玉掛け技能講習 | １年生～３年生 |
| ⑩その他 | |
| 日本語文書処理（ワープロ）技能検定、情報処理検定、実用英語技能検定、
日本漢字能力検定、ＦＦＪ（農業クラブ）検定（初級～特級）など | |